

いのちと必要なた水は国・自治体の責任で くらしに

10月の大会で新体制になった吹田市水道労働組合。「すべての職場の意見が出しあえるよう、執行委員は各職場から出てもらうようにしています。また、LINEなどで、情報共有や相談などができるようにしています」と、日常活動の工夫を語る四役のみなさん。災害対応・支援や水道民営化について聞きました。



右から北野さん、岡本さん、向井さん、伊場さん

吹田市水道労働組合

執行委員長 北野 雅一さん 書記長 伊場 克彦さん
副執行委員長 向井 恵さん 書記次長 岡本 大地さん

大阪北部地震や21号台風 24時間対応で給水活動

技術職も事務職も一緒にな
って、24時間対応で給水活動
などにあたりました。2台の
加圧式給水タンク車（2トン
車）や、吹田市内11か所の給
水拠点があり、職員がそこへ
行き対応しました。

台風の停電では、マンショ
ンなどで断水があり、給水活
動を行いました。マンション
の下では水が出せましたが、給
水設備の開錠に時間がかかっ
たところもありました。

災害時や災害支援の 経験・技術の継承が課題

西日本豪雨災害ではすぐに
支援要請があり、翌日から第
1陣を送り出しました。4人
1組で、第4陣17人を派遣し
ました。大型車両を運転でき
る職員に限られ、人選に苦労
しました。「暑さと砂埃がも
のすごく、毎日の洗車も大変
だった」と帰ってきたみんな



給水車で吹田市内をまわる水道部職員

が言っています。

この間の災害をうけて、部
内で事例研修がされており、
経験や技術を継承していくこ
とが課題だと感じています。

水道民営化が招く 「儲け」「コスト」の追求

水道の民営化に問題がある
ことは海外の事例からも明ら
かです。2000年から15年
間で民営の水道事業が再び公
営化された事例は235件で
その後も増えており、再公営
化は世界の流れになっていま
す。

国は「モニタリングで事業
の水準や水質は守られる」と

していますが、知識や現場経
験がないとモニタリングその
ものができませんし、大阪市
の民営化案は、30年契約で、
長い契約期間の中で公的な視
点で検証する技術者が不足す
ることになります。

民間企業ではどうしても
「儲け」「コスト」が優先さ
れ、水の安全を守っていく立
場・使命が薄れていくとおも
います。水の安全・水質管理
と合理化・コスト削減は相反
するものです。

吹田市は府内で3番目に安
い水道料金ですが、住んでい
る地域で水の値段が違うのも
おかしいです。国民一人ひと
りのいのちとくらしに必要な
水は、国が平等になるよう責
任を持つべきです。

「モニタリング」とは

事業期間にわたり、運
営権者が提供する公共サ
ービスの水準を府や市町
村が監視（測定・評価）
する行為。（内閣府「モ
ニタリングに関するガイ
ドライン」より）



輝け憲法！ともに生きる社会を！
11・3おおさか総がかり集会。扇町公園
に1万2000人が集まり、声をあげました

生活改善と平和を 秋闘勝利へ全力

生活改善につながる賃金・一時金の引き上げ、長時間
労働の解消、業務量に見合った人員増、災害に対応でき
る人員確保など、切実な要求が山積みです。職場から秋
季年末闘争を強め、全員参加の取り組みで当局に要求実
現を迫りましょう。（2・3面に関連記事）

また、安倍政権が改憲への執念を強めています。憲法
が変われば、公務員に「全体の奉仕者」から「政権の奉
仕者」へと変質させる圧力が強まります。「3000万人署名
」を推進するとともに、職場から憲法を執行するための
取り組みをすすめてみましょう。



衛都連の大阪市町村課への要請行動（10月31日）